

テニス大会における熱中症・心停止等スポーツメディカル対策の研究 ご協力のお願い

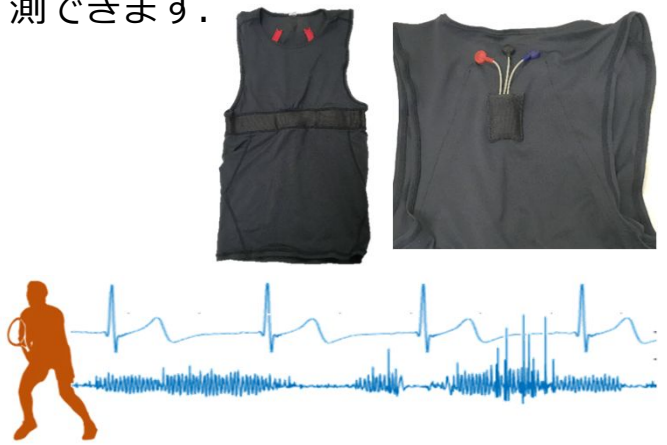
現在、関西テニス協会では、日本テニス協会、大阪大学、大阪体育大学と協力して、ジュニアからベテランにわたるテニス選手のけがや病気（スポーツ外傷・障害・疾病）の発生を予測し、予防することを目指した研究を進めています。

その研究の一部として、本大会では、**A) 過去のけがや病気、当日の体調に関するアンケート調査と、 B) ウェアラブルセンサを用いた試合中の心拍、身体活動など生体情報の計測**を実施します。

A) タブレット端末を用いて、過去のけがや病気、当日の体調に関するアンケートに答えて頂きます。アンケートは短時間で入力可能なものです。



B) スポーツ用のインナーウェアと同等の素材で作られ、小型センサが搭載されたウェアラブルセンサを着用頂くことで、試合中の活動強度や心拍数が計測できます。



本研究の参加者は、6月8、9、10日に「しあわせの村」会場で実施されるカテゴリーの方を対象に募集します。本研究は、大阪大学大学院医学系研究科の倫理審査委員会の承認を受けて実施し、研究への参加は任意です。本研究に参加しないことで不利益を被ることはありません。詳細については当日にご説明させて頂き、参加への同意が得られた方を対象に実施します。

研究へ参加頂いた方には、試合中の活動強度や心拍数の変化を試合後にフィードバックさせて頂きます。ウェアラブルセンサについては、昨年度の本大会や大学生の公式戦でも使用した実績があり、プレーに対する違和感はほとんどないというご意見を頂いております。

本研究への参加にご興味を持って頂いた方は、試合当日に会場におります担当者にお問い合わせください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

関西テニス協会 理事・スポーツ医科学委員会 委員長
大阪大学大学院医学系研究科 スポーツ医学 教授

中田 研